

平成 2 3 年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ラッキョウ灰色かび病 (No. 1)

平成 2 2 年 4 月 1 3 日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

県内全域のラッキョウほ場において、灰色かび病の発生が多くなっています。今後、茎葉が繁茂するにしたがって、さらに発病が増加する恐れがあるため、防除を徹底しましょう。

2 情報の根拠

- (1) 4 月 1 2 日現在、定点調査ほ場における灰色かび病の平均発病株率は 6 . 0 % で、平年 (3 . 6 %) に比べて多く、特に県東部で発病が多くなっている (表 1)。
- (2) 今後は、茎葉が繁茂する時期となるため、さらに発病が増加する恐れがある。

3 防除上注意すべき事項

- (1) カンタスドライフロアブル 1 , 5 0 0 倍液、ロブラール水和剤 1 , 0 0 0 倍液、ダコニール 1 0 0 0 の 1 , 0 0 0 倍液、フロンサイド水和剤 2 , 0 0 0 倍液などを、収穫前日数及び使用回数に注意しながら 7 ~ 1 0 日間隔で輪番散布する。
- (2) 降雨後には、枯れた葉上に多数の分生胞子を形成するので、降雨後の防除を徹底する。
- (3) 茎葉が繁茂したラッキョウは、株元に薬液がかかりにくい状態となっているので、特に丁寧に薬剤散布する。

表 1 ラッキョウほ場における灰色かび病の発病状況 (4 月 1 2 日調査)

| 地 点 | 調査ほ場数 | 発生ほ場数 | 発生ほ場率 (%) | 発病株率 (%) |
|-----|-------|-------|--------------|-------------|
| 福 部 | 5 | 5 | 100 | 8.1 |
| 北 栄 | 5 | 5 | 100 | 3.8 |
| 合 計 | 10 | 10 | 100 (82.7) | 6.0 (3.6) |

() 内の数値は H 15 ~ 22 年の平年値

表 2 ラッキョウ灰色かび病の防除薬剤 (平成 2 3 年 4 月 7 日現在の農薬登録内容)

| 薬剤名 | 希釈倍数 | 使用回数 | 使用時期 |
|--------------|--------|-------|------------|
| ダコニール 1000 | 1000 倍 | 3 回以内 | 収穫 14 日前まで |
| ロブラール水和剤 | 1000 倍 | 3 回以内 | 収穫 30 日前まで |
| フロンサイド水和剤 | 2000 倍 | 5 回以内 | 収穫 14 日前まで |
| カンタスドライフロアブル | 1500 倍 | 3 回以内 | 収穫前日まで |